

えずこホール イベント案内
みんなが楽しめるコンサート♪

えずこミュージックアカデミーコンサート 26th

2023.11.26(日) 全席自由 500円
13:30開演 未就学児無料

えずこホールで活動している5つの音楽団体(ギター、男声合唱、弦楽、ゴスペル、吹奏楽)による元気の出るコンサート♪小さなお子さまも一緒にご入場できます。

子育て世帯の頼もしい味方
えずこ託児ボランティアメンバー募集

えずこホールの主催公演を観たいパパやママを応援するキッズクラブ。子どもが好きな方、お待ちしております。(保育経験不問)

◆活動日：主催公演開催日
えずっこひろばの日
◆参加費：無料
◆対象：高校生以上

えずっこひろば
～親子で楽しむ遊びの場所～
11/22[水]
10:00～12:00
会場：ホワイエ 参加：無料
(出入り自由/申し込みの必要はありません。)

感染症対策推奨
指先消毒 顔内マスク 換気対策

えずこホール
TEL 0224-52-3004
〒989-1267 柴田郡大河原町字小島1-1
URL: http://www.ezuko.com/
info@ezuko.com

私たちは楽しみにしていたもの

しかし、新型コロナウイルスの発生により、中学校では「堤神楽」を教えていただく機会が令和2年度、令和3年度、令和4年度と中止になっていました。今年度になり、ようやく7月に4年ぶりに保存会7名の方々から教わる講習会を行うことができました。



金ヶ瀬地区には町指定の無形文化財「堤神楽」があります。この「堤神楽」は明治時代中頃に堤地区に伝えられ、金ヶ瀬地区にある大高山神社の神楽となり、「五穀豊穡」「家内安全」を祈念し、毎年踊りが奉納されてきました。足踏みの音も立てないように舞われる珍しい神楽と言われています。私たちはこの「堤神楽」を保存会の方々から小学校で教わり、また、中学校でも忘れないよう教わってきました。

の、長い期間があいてしまったため、上手に舞うことができたか心配でした。しかし、実際に太鼓や笛の音が聞こえると、体が自然に動き出し、楽しく舞うことができました。舞い終わった後には皆笑顔になり、自分の中に金ヶ瀬地区の伝統が伝わっていることを実感し、何とも言えない充実感に満たされていました。今後この「堤神楽」を学ぶことができることを誇りに思い、金ヶ瀬地区の伝統として次の世代にもつなげていきたいと思えます。

堤神楽

金ヶ瀬中学校

楽しみなながらプログラミングの初歩

令和2年度より小学校においてプログラミング教育が導入されました。それを受けて、本校でも、プログラミング教育の推進に力を入れて取り組んでいます。

9月には、5年生の学級でプログラミング教育の授業を実施しました。児童がタブレット端末のアプリを使って多角形を描くという授業でした。

児童は、どのようにプログラミングをして指示すれば、正三角形や正五角形などの多角形を描くことができるか、試行錯誤しながら課題解決に向けて取り組みました。初めは、思ったとおりには図形が描けませんが、児童同士が話し合ったりしてプログラミングを変えていくうちに要領を得て、図形が正しく描けるようになりました。今回の授業を通して、



的な仕組みを理解することができました。今後は、企業の方を講師に迎えてペッパー君を使った授業も5年生で行う予定です。更にハードルは上がりますが、今回の授業の経験を生かしてプログラミング学習に取り組み、ペッパー君を想定した通りに動かせるように学習を進めてまいります。

大河原小学校



佐藤 輝さん



菊地 未桜さん



山家 望愛さん



永井 佑奈さん



橋本 梨臣さん



平間 怜桜さん



平間 桜叶さん



赤松 逢夢さん



谷本 芽衣さん



谷本 唯衣さん



安保 成瑛さん

11月13日～19日は糖尿病週間です

11月14日は「世界糖尿病デー」です。インスリンを発見したカナダのバンティング博士の誕生日であり、糖尿病治療の画期的な発見に敬意を表し、この日を顕彰しています。日本では13日～19日を糖尿病週間とし啓発しています。

シンボルマークの「ブルーサークル」は、国連や空を表す「青(ブルー)」と団結を表す「輪(サークル)」で「糖尿病に対して団結しよう」という意味があります。



○糖尿病とは

インスリンの作用低下が原因で、血液中のブドウ糖の濃度が高い状態(高血糖)が続く病気です。重症になると血液中の糖が尿にあふれ出て甘い匂いがするためその名前が付けられました。

○症状

高血糖により、のどが渇く、多飲、多尿、体重減少、疲れやすいなどがありますが、初期にはほとんど症状がなく、症状が出た時には、糖尿病が進行してしまっていることが多いです。

3大合併症(網膜症、腎症、神経障害)があり、進行すると失明や足の壊死、透析に繋がります。

○予防のために

年に1度、健康診査を受け自分の血糖値を確かめることが大切です。日常でできることとして、摂取エネルギー量を取りすぎない、運動をする、アルコールをとりすぎない、たばこを吸わない、野菜や大豆製品、海藻、きのこなどを多くとるなどがあげられます。

糖尿病になってしまった場合には、厳格な食事療法、運動療法、薬物療法が必要となり、主治医と個別に相談することが大切です。町の糖尿病相談も利用できます。ご希望時は健康推進課までお問い合わせください。

出典：世界糖尿病デー実行委員会